

スタッフ

対象者氏名				評価日	評価日	
所属施設・所属部署			訪問看護ステーションことり			
看護の核となる実践能力	レベルの定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得ながら看護を実践する		自己評価	他者評価
	ニーズを捉える力	評価項目	1	利用者の状態に合わせてバイタルサインの測定ができる。		
			2	バイタルサインをもとに基本的なフィジカルアセスメントを行うことができる。		
			3	利用者・家族が治療に対してどのような考え方を持っているのか情報を得ることができる。		
			4	助言を受けながら患者の全体像を把握し、看護過程を展開することができる。		
			5	患者の状況から緊急度がわかる。		
			6	助言を受けながら、患者の状況を判断し緊急度に応じた観察ができる。		
			7	生命の危機に関わる緊急性のある異常の早期発見ができる。		
	ケアする力	評価項目	1	エビデンスに基づいケアを利用者・家族に説明できる。		
			2	エビデンスに基づいたケアを利用者・家族に実践できる。		
			3	基本的な看護技術は、新人看護職員研修ガイドラインを遵守して、実践できる。		
			4	看護技術の実施に伴うリスクを予測できる。		
	協働する力	評価項目	1	利用者・家族を看護していくために必要な情報が何かを考えることができる。		
			2	ケアに必要と判断した情報を関係者から収集できる。		
			3	利用者・家族を看護していくために必要な情報を関係者と共有できる。		
			4	事業所内のチームの一員としての役割を理解できる。		
			5	多職種（医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ等）の役割を理解できる。		
			6	利用者・家族を取り巻く関係者の多様な価値観を理解出来る。		
			7	必要なときに、適切に連絡・報告・相談ができる。		
	意思決定を支える力	評価項目	1	利用者の思いや考え、希望を傾聴できる。		
			2	家族や周囲の人々の思いや考え、希望を傾聴できる。		
			3	利用者・家族や周囲の人々の思いを看護チーム（リーダー看護師など）に伝えることができる。		
組織的役割遂行能力	所属部署	レベルの定義	事業所内のメンバーとして役割を果たせる。	自己評価	他者評価	
		役割行動	☐ 部署内の係の役割を果たせる。			
			☐ 日々の看護業務においてメンバースhipを発揮することができる。			
			☐ 助言を受けながら新卒新人の支援ができる。			
自己教育・研究	レベルの定義		指導・助言を受けながら自己の教育課題に気づくことができる。		自己評価	他者評価
	自己教育 研究	行動目標	☐ 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる。			
			☐ 外部研修に自主的に参加できる。			
			☐ 自分の受け持ち患者へのケアを振り返り、何らかの場で発表し、助言を受けることができる。			